

国際光年シンポジウム

「宇宙からの光」総括シンポジウム

縣 秀彦 (IAU/OAO 室長、天文教育普及研究会会長)

1. はじめに

IAU が活動を提唱した国際光年 2015「宇宙からの光」に対し、日本においても全国各地で多様な取り組みが実施されました。その活動の内容や成果を共有し、天文分野における日本での活動を総括するとともに、個人的な活動や地域での活動から始まった新しい全国レベルでの連携の兆しや天文教育・普及活動の今後の展開について意見交換することを趣旨として本シンポジウムは開催されました。

本特集は、シンポジウムの集録として機能するようにと、すべての主催・共催・後援団体の了解の下に、各発表者とシンポジウム世話人を務めた天文教育普及研究会関東支部運営委員各位、ならびに松村雅文委員長をはじめ「天文教育」誌編集委員会のご尽力によって編纂されたものです。関係各位に深く感謝いたします。

2. シンポジウム開催にあたって

2015 年はどんな天文・宇宙の話題に関心が集まったのでしょうか？ メジャーな天文現象が無い年と言われながらも、ニューホライズンズの冥王星接近をはじめ、12 月には立て続けに、はやぶさ 2、あかつき、ノーベル物理学賞授賞式、油井宇宙飛行士の帰還、そして下町ロケット、さらには系外惑星系の命名の結果発表と人々の関心を集める出来事が続きました。2009 年の世界天文年から昨年までを天文・宇宙の「市民サイエンス」創成期と呼ぶのなら、これからその種をどう育てていくのか英知の結集が必要です。昨年一年の個々の活動の成果を共有するとともに、天文・宇宙分野のサイエンスコミュニケーションについて次の一步を共に考えましょう。

3. シンポジウムの実際

主催・共催：

天文教育普及研究会 (JSEPA)
国際天文学連合国際普及室 (IAU/OAO)
日本天文学会 (ASJ)
日本公開天文台協会 (JAPOS)

後援：

国際ダークスカイ協会東京支部 (JDA 東京)
日本プラネタリウム協議会 (JPA)
日本天文愛好者連絡会 (JAAA)

日時：2016 年 1 月 11 日 (月、祝)

10:00~17:20 シンポジウム

17:30~ 情報交換会

会場：東京理科大学 森戸記念館 (東京)

参加者数：95 名

口頭発表 15 件、ポスター発表 16 件、
活動報告パワーポイント提供 17 件

世話人：

縣秀彦 (IAU 国際普及室/国立天文台)
飯塚礼子 (明星大学/通信制大学院)
石田光宏 (横浜サイエンスフロンティア高校)
臼田-佐藤功美子 (国立天文台)
亀谷和久 (東京理科大学)
小林弘 (総合研究大学院大学/国立天文台)
波田野聡美 (国立天文台)

参照 URL

「宇宙からの光」総括シンポジウムサイト

<http://prc.nao.ac.jp/fukyu/iyl2015/>
(活動報告パワーポイント等を掲載)



縣 秀彦